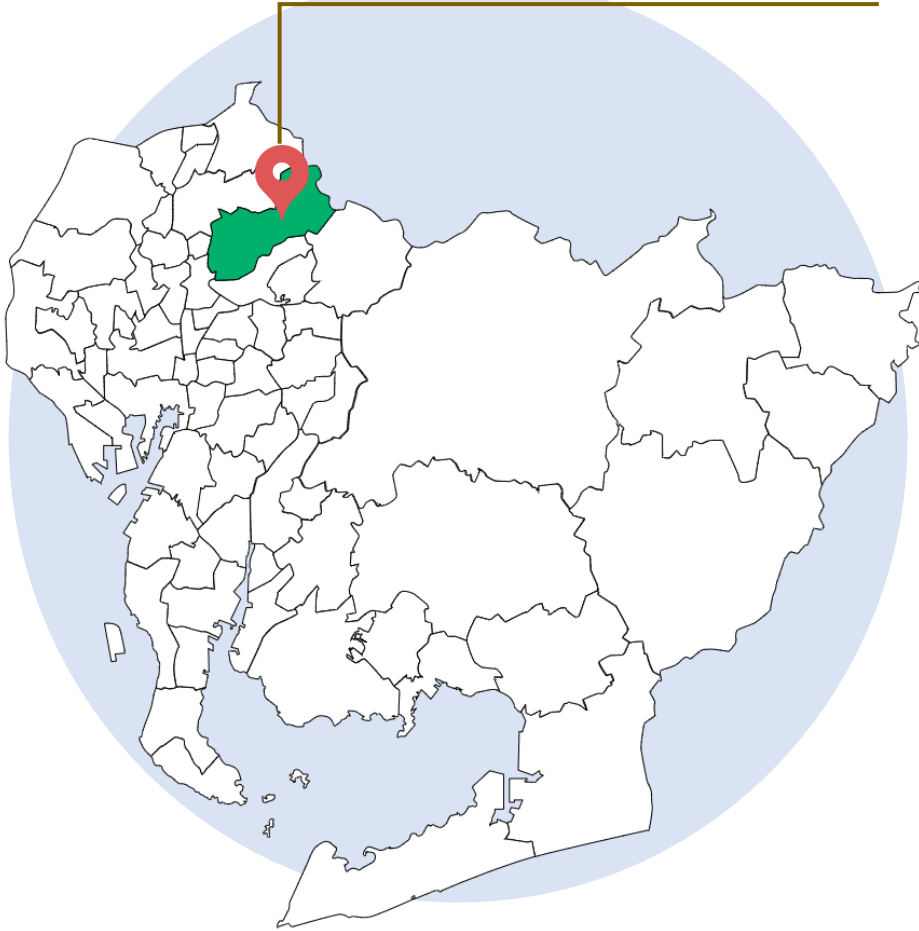


ファーマーズマーケットぐうぴいひろば



住所：春日井市松本町1-1-1

URL：<https://ja-owari-chuoh.or.jp/farmersmarket/>

アクセス：東名高速「春日井IC」より約10分

名古屋の近郊で魅力ある農産物を買おう ～ファーマーズマーケットぐうぴいひろば～



「ファーマーズ
マーケットぐうぴい
ひろば」は、春日井市
の中心部にある、地域の
農産物や加工品を販売す
る直売所です。運営は「
JA尾張中央」が行っていま
す。同JAの区域である
春日井市や小牧市は、名
古屋市の近郊でありなが
ら果樹をはじめとした農
産物の生産も盛んで、地
域の魅力が伝わる店舗と
なっています。

今回、開設の経緯や取
組について取材しました。





あぐりパーク食彩村（豊橋市）からの農産物
愛知県内や近隣市町村のJA系列の直売所とは
交流も行っています



JA尾張中央管内産であることが
わかりやすいポップ

ワンストップで買い物できるJAの店舗

東海農政局…直売所の成り立ちについて教えてください。

フアーマーズマーケットぐうぴいひろば…こちらの店舗ができる前、JA尾張中央の管内には農産物を販売するグリーンセンターが3店舗ありましたが、精肉や魚介類・惣菜まで販売をする店舗がありませんでした。そこで、消費者がワンストップで買い物をできる総合的な店舗を設立する目的で、緑化センターやAコープ（JAが運営するスーパーマーケット型店舗）を再編し、平成27年4月にぐうぴいひろばがオープンしました。現在も当JAが運営をしており、精肉や魚介類・惣菜はテナントを誘致して販売を行っています。

農政局…JA尾張中央の中でも、どのような立ち位置の店舗なのでしょう。ぐうぴいひろば…当JA管内で他に農

産物を買うことのできるグリーンセンターは農産物や園芸がメインの店舗です。買い物という観点で見れば、一か所でも揃う当店舗はまさに中心的な役割を担う店舗だと思えます。

農政局…運営していく上でどのようなことを心掛けていますか。

ぐうぴいひろば…お客様に丁寧に寄り添うことを第一としています。他の直売所ですと生産者ごとに農産物を並べるところもありますが、当店舗では品目別に並べた分かりやすい陳列を徹底しています。また、ポップもこちらで準備しており、お客様が商品の特性や美味しい食べ方を把握できるように記載することもあります。

農政局…地元産の農産物は「JA尾張中央管内産」のポップが掲載されているのが親切でわかりやすいと感じました。



店内の様子。県内の直売所でも屈指の店舗面積を誇ります

名前の「ぐうぴい」の由来とは...?

農政局…当店舗で扱っている農産物はどのような品揃えを行っていますか。
ぐうぴいひろば…なるべくJA尾張中央管内のもので揃えるようにしており、ない品目は愛知県内の物や国内産のものを仕入れて品揃えを確保しています。外国産の農産物は一切取り扱っておりません。

なお、当店舗はJAが運営していますが、扱っている地元の農産物はJAで集荷されたものではなく、生産者が直接持ち込んでいます。

農政局…JA尾張中央管内（春日井市・小牧市等）の農業はどのような特徴があるのでしょ

うか。
ぐうぴいひろば…名古屋市の近郊でありながら、農産物の出荷量や名産品が多く、都市近郊型農業の良いモデルになっていると思います。当店では、令和5年度からは地方へのオンライン発送も行っており、各地で人気が出始めていると考えています。

農政局…どういった農産物が地域の名産品なのでしょう

うか。
ぐうぴいひろば…桃にぶどう、梨など、果樹の生産量が多く有名です。店名でもある「ぐうぴい」は「グレープ」と「ピーチ」からそれぞれ取られています。オンライン発送でも、これらの果物類が人気があります。

農政局…どういった品種が並びますか。
ぐうぴいひろば…最も売上高の大きい桃は、ひめこなつやちよひめ、なつおとめ、日川白鳳など、旬に応じた様々な品種が6月〜8月上旬にかけて並びます。また、令和6年度からは当産地のブランド品種として、「こまきゴールド」という黄桃を販売しています。大玉の割合が多く、かつ糖度も高いという特徴があります。

ぶどうは巨峰、梨は豊水や幸水が旬になると多く並びます。



こまきゴールド

桃の産地である小牧市で栽培されています。黄桃にしては珍しく早生品種で、6月の下旬ごろの限られた期間に出回ります。2022年に農林水産省へ品種登録、2025年からは糖度の高いものを厳選した「こまきゴールド極」も販売されています。



JA尾張中央で収穫されたぶどう（巨峰）



訪問日（5月下旬）は、極早生品種の桃「ひめこなつ」と、春日井市産のいちごがありました。

地域の農産物を季節ごとに楽しんで



トマトの他、
5月は梅やたけのことといった
地元農産物が特徴的でした！



有機農産物コーナー



精米コーナー。地元産米、愛知県産米、
各地の銘柄米など多数の種類が揃います

農政局・野菜類や米など、その他農産物はいかがでしょうか。

ぐうぴいひろば…トマトは、春日井市の高蔵寺ハウス部会が力を入れて生産しており、5月から夏前ごろまで多く並びます。夏は、ナスやきゅうりといった地元の夏野菜が、棚に埋まるほどです。基本的には年間を通じて、季節に応じた旬の農産物が多くなります。米は、地域でとれるものは「あいちのかおり」が大部分を占めています。店内には精米コーナーもあり、精米したての新鮮な地元米を購入できます。

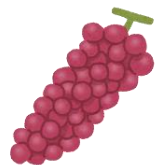
農政局…当店舗がある春日井市は「サボテンのまち」として知られています。が、こちらでも取り扱いがあります。ぐうぴいひろば…不定期ではありますが、春日井産食用サボテン「ノパール」の取扱いを行っています。全国的にも有名で、春日井の食用サボテンがテレビで特集された際、当店舗での販売の

様子が取り上げられたこともあります。農政局…その他に地域で特徴的な取組をしている生産者はいませんか。

ぐうぴいひろば…地域に、愛知県の伝統野菜を栽培している部会があり、当店にも出荷を行っています。野崎白菜2号や八事五寸にんじん、宮重だいこんなど8種類ほどの伝統野菜を栽培しています。

農政局…環境にやさしい農産物の取扱いはいかがでしょうか。

ぐうぴいひろば…出荷者の中には農薬不使用で栽培されている方がいらっしゃいます。また、有機農産物の出荷者はいませんが、お客様の中には有機農産物を求められる方もおりますので、要望を踏まえて、市場から仕入れた有機農産物のコーナーを設置しています。



直送の海鮮や桃のお菓子が大人気！



店長おすすめ！豊浜とれたて食堂の
「とれたて定食」



新鮮な南知多・豊浜漁港直送の魚介類。
伺った日はお休みでしたが、普段は
かご盛りで売られているそうです！

農政局…精肉や魚介類、総菜屋のテナントについて教えてください。

もぎたて広場…愛知県内のものを揃えるために、各種県内の事業者を誘致しています。精肉はJA愛知経済連の協力の元でみかわ牛を中心とした販売、魚は南知多町の豊浜漁港からの毎朝直送、総菜屋は高浜市に本社を置く（株）おとうふ工房いしかわのテナント「とうふや豆蔵」が入っています。

特に、魚介類は、レストラン「豊浜とれたて食堂」が当店内にあり、新鮮な魚料理をいただくことができます。口コミで人気が広まり、平日でも昼間はお客様が多く入っています。

農政局…加工品ではどのようなものが人気でしょうか。

もぎたて広場…まずはなんといっても名産品の地元産桃を使ったスイーツです。特に人気なのは春日井市の桃の菓



桃のお菓子の販売コーナー（右）と、桃福（左）
その他、ゴーフレットやどら焼きなど桃のお菓子が様々並んでいました

子専門店「桃花亭」の白桃ゼリーや「桃福（桃を使用した大福）」です。

また、当JAのプライベートブランド（PB）商品として、JA管内で収穫されたあいちのかおりを用いた玄米茶を販売しています。8年ほど前に、米の消費を促進する目的で開発されたものになります。PB商品の第2弾として、地域でとれたサツマイモを用いた干し芋を計画しており、令和8年度の秋期から販売を開始する予定です。

農政局…店舗でのイベントはどのようなことを行っていますか。

ぐうぴいひろば…毎年4月の周年祭で、キッチンカーやくじ引きの催しを行うほか、定期的に食育ソムリエのスタッフによる地元の農産物を用いたレシピの試食会を行っており、地域の農産物のおいしい食べ方を広めています。

自慢の果樹を活かしたPBを作りたい



COC活動

Center of Community活動の略。大学と地域が一体となり、地域で活躍する人材の育成や、大学を核とした地域産業の活性化に繋げる活動のことをいいます。



とうふや豆蔵のお惣菜
(↑)
みかわ牛の販売スペース
(→)



農政局…行政や教育機関と連携していることはありますか。
ぐうぴいひろば…中部大学（春日井市）の栄養学科のCOC活動へ協力・連携をしており、地域の農産物、例えば数種類の品種のじゃがいもやお米等の特性を分析し、それぞれの品種の最適な調理法やレシピを考案し、来店者に向けて店頭で発表しています。
農政局…店舗を運営するうえでの現在の課題について教えてください。
ぐうぴいひろば…当地域でも生産者が徐々に減少しており、今後の農産物の出荷量の減少を危惧しています。JAの農業塾の卒業生に出荷をお願いしたり、JAとしても農地を借りることでできる仕組み（農地バンク）に協力しているなど、地域の生産を維持できるように取り組んでいます。

また、当店舗は住宅の多い地域であり、スーパーや薬局が周辺に多く、買い物の激戦区であることも運営のうえでの課題だと感じています。産直であることや国産の商品のみの販売をしていることを当店舗の強みとしています。が、より地域の農産物の魅力が伝わるような取り組みをしたいです。
農政局…今後の展望として、どのような取り組みを考えていますか。
ぐうぴいひろば…今後PB商品をさらに開発・販売していきたいと考えています。例えば、果樹の生産が盛んな地域であることを活かしたドライフルーツを考えています。当店舗での販売のみならず、愛知県内・全国区での販売まで進めて、小牧・春日井地域の農産物の良さが伝わればと思っています。

農政局…ありがとうございました。
(訪問日…令和8年5月27日)



取材に御協力いただきました、店長の岡崎さん（右）と、JA尾張中央 産直担当の夏目さん（左）
(真ん中はマスコットキャラクターのぐうちゃん（左）とぴいちゃん（右））